



LIONS NEWS

Lions Clubs
International 330-A
2017 APRIL Vol.5



～東日本・熊本復興支援～

被災者の方々に「心のケア」を届けます！

2017年2月23日 チャリティ「お笑いライブ」開催@新宿ルミネtheよしもと



2.14. 会場下見会も開催されたスタッフ、ミーティング風景



よしもと芸人さんの熱演と詰めかけた観客の皆さんの笑い声と拍手で会場は熱気に包まれた。



委員会メンバーの活躍



村木ガバナーあいさつ



お土産を配る委員会メンバー



東日本・熊本復興支援特別委員会メンバー集合

「330-A地区から被災地へ復興の想いを届けました①」熊本支援報告

2月23日に開催された「チャリティお笑いライブ」での収益金の1部を事業費として3月28日(火曜日)に南阿蘇村にて「熊本災害復興支援子ども相撲教室」を開催してまいりました。

主催：ライオンズクラブ国際協会330-A地区

協賛：ライオンズクラブ国際協会330-C地区

後援：南阿蘇村教育委員会

協力：ライオンズクラブ国際協会337-E地区

荒尾ライオンズクラブ・高森ライオンズクラブ

開催会場：旧白水中学校体育館 阿蘇郡南阿蘇村大字吉田2301

協力部屋：荒汐部屋(蒼国来・福轟力・剛士・大波/ちゃんこ番内海ひかる)



相撲教室は蒼国来関に進行をお任せして、準備体操、ストレッチなどを入念に行いました。力士の身体の柔らかさに参加者は驚いていました。子どもたちとのぶつかり稽古が行われ、硬い表情の子どもたちも、明るい笑顔に変わり、積極的に力士達にぶつかっていくようになりました。



ぶつかり稽古を終了した後に、各ブロック毎に参加した子どもたちと、力士が記念写真を撮りちゃんこ振舞いへと移動しました。



現地の協力クラブが用意してくれた食材を荒汐部屋の内海さんが味付けし、参加した子どもと同伴の親御さんたちに振舞い、無事終了しました。



出演した芸人さん達



最後に芸人と参加者スタッフ皆で集合写真も撮影

「330-A地区から被災地へ復興の想いを届けました②」気仙沼支援報告

2017年4月9日 気仙沼の方々に「お笑いライブ」をお届けしました。参加者約100名。「コウメ大夫」をメインとし、若手芸人「アゲイン」、「リクロジー」、「シャチ」の三組を加えて、約2時間のライブでした。それぞれのネタの他、企画コーナーもありで、会場一体となり盛り上がったライブが行えました。参加の方々も満足いただけたようで、沢山の笑い声と拍手、笑顔の中お開きとなりました。

地元、気仙沼ライオンズクラブの協力あってのお笑いライブでした。改めて御礼申し上げます。(報告：東日本・熊本復興支援特別委員会)

主催：ライオンズクラブ国際協会330-A地区

協賛：ライオンズクラブ国際協会330-C地区

協力：ライオンズクラブ国際協会332-C地区 気仙沼ライオンズクラブ

開催会場：南三陸プラザ

INDEX

表 2	～東日本・熊本復興支援～被災者の方々に「心のケア」を届けます！
P02	クラブアクティビティ報告
P08	330-A Leaders Interview クラブ編 Part-1
P12	330-A Leaders Interview クラブ編 Part-2
P14	クラブアクティビティ報告
P17	周年、伝達式
P18	キャビネット関連報告 委員会セミナー等告知
表 3	複合年次大会告知 2017.6.世界大会告知 バス停広告・FWT 給食お礼
表 4	今後の主な行事予定・編集後記 2016-17広報情報委員会メンバー紹介

クラブアクティビティ報告

奉仕活動の原点であるクラブアクティビティをご紹介します。
魅力あるこれらのクラブアクティビティは我々ライオンズメンバーの誇りです。

全国身体障害者ほじょ犬サミットin東京

テーマ: 社会福祉
於 衆議院第一議員会館大会議室

13R2Z東京田無LC

1/20(金)

当クラブが以前から支援している日本聴導犬協会代表、有馬もと氏が総合プロデューサーとなり、第2回『全国身体障害者ほじょ犬(盲導犬・聴導犬・介助犬)サミットin東京』が、衆議院第一議員会館大会議室で行われました。当クラブから5名のメンバーが寄付金を携えて出席し、関係者から大いに感謝されました。今回はライオンズクラブとしては当クラブだけでしたが、今後は他クラブからの支

援の輪が広がればと思います。2020年にはオリンピック&パラリンピックが東京で開催され、海外からの身障者や補助犬補助ユーザーも数多く来日すると予想されています。日本ならではの「おもてなし」を数多く体験してもらうため、補助犬連れの飲食店等入店お断りとなる「障がい者へのバリア」が無くなればと考えています。

(レポート: 東京田無LC 会長 L 鷲塚 誠)



九品仏浄真寺チャリティバザー

テーマ: 地域交流
於 九品仏浄真寺参道

10R2Z東京玉川LC

1/21(土)

毎年恒例、東京玉川ライオンズクラブの障がい者支援チャリティバザーが九品仏浄真寺参道にて1月21日に開催されました。当日は村木ガバナーにもご来訪頂きました。

福祉作業所で作られた焼き菓子のほか、メンバーのドネーション品を自分たちで販売しました。好天にも恵まれ、例年を上回る事業資金を獲得しました。

(レポート: L馬場 久雄)



薬物乱用防止教室

テーマ: 青少年健全育成
於 町田市立町田第一小学校(1.23) / 於 町田市立忠生小学校(1.26)

12R2Z東京町田クレインLC

1/23(月)・26(木)

「ダメ。ゼッタイ。薬物乱用防止教室」を町田市立町田第一小学校と町田市立忠生小学校にて開催しました。それぞれの小学校6年生各100名ずつを対象に、当奉仕活動を行



いました。今回は、瀧沢委員長が自ら講師として参加し、DVDとパワーポイント等の教材を使って、子ども達にわかりやすく薬物乱用の恐ろしさを伝えました。

質疑応答の時間では、「医療用大麻の合法化を訴えていた人が逮捕されましたが、それについてどう思いますか?」という、小学生とは思えないような難しい質問もあり、子ども達の薬物乱用に関する関心の度合いの深さを思い知りました。

春先には町田市立南成瀬中学校での薬物



乱用防止教室を予定しており、子ども達の大切な体と明るい未来を守るために、薬物に手を出してしまう若者がいなくなるよう、引き続き薬物乱用防止教室を行ってまいりたいと思います。

(レポート: L小林 直人)

子ども食堂視察

テーマ: 青少年健全育成
於 介護老人保健施設「太陽の都」

7R1Z東京赤羽LC

1/26(木)

介護老人保健施設「太陽の都」(東京都北区)において「浮間子ども食堂」のアクティビ



ティを開催(CAP委員会 子ども食堂視察 赤羽LC主催)しました。このアクティビティは親子とライオンズメンバーでゲームや防犯教室を交えながら食事を楽しむ集いであり、今回で4回目の開催となります。当日は親子31人が参加し、食事前にはプレスレットを作ったりオセロや輪投げで遊んだりしました。防犯教室では防犯アドバイザーの京師美佳さんを講師として招き、不審者の見分け方や身の守り方につ



いて学びました。その後、食事の時間となり楽しい会話をはずませながらカレーライスを頬張り、あっという間の2時間が過ぎました。
(レポート: CAP委員会 L関 飛雄一)

チャリティ観劇例会 由紀さおり新春特別講演

テーマ: 青少年健全育成
於 上ノ原小学校

13R2Z東京田無LC

1/29(日)



東京田無LC主催、毎年恒例の観劇会が本年も明治座にて行われた。由紀さおりの歌と芝居に約160名のメンバーが酔いしれた。とくに昭和の歌のコーナーでは一緒に口ずさむ楽しい様子が見受けられた。
(レポート: 広報情報委員会 L後藤 裕文)



薬物乱用防止教室実施

テーマ: 青少年健全育成
於 上ノ原小学校

12R1Z東京調布LC

2/2(木)

本年度9回目の防止教室を上ノ原小学校で行いました。当日は朝8時40分から12時



20分まで4クラス連続での授業となりました。動画担当は新入会員の亀田L、ベテランの宮本Lが補助し2回目としてはかなりの出来となっておりました。当クラブでの授業は簡単なライオンズクラブの紹介後、DVD上映、最後にパワーポイントによるおさらいという形で行います。おさらいは誰でも気軽にできるよう内容を標準化し、且つ子どもが飽きないように質問を取り混ぜながら進めています。おかげでどこでも校長先生自ら大変丁寧に



対応下さり、大変良い雰囲気を実施できております。
(レポート: L矢田部 満)

バレンタイン献血

8R1Z東京目白LC



2/11(土)

東京目白LCと学習院大学応援団主催のバレンタイン献血が、池袋東口ロータリーで行われた。今回で15回を数えるバレンタイン献血であるが、献血活動としては30年近く継続して行われてきた、歴史あるクラブアクティビティである。当日は後援の豊島区より高野之夫区長も応援に訪れ、330-A地区からは村木ガバナー、今井第2副地区ガバナーも駆け付けた。晴天の冬空のもと学習院大学応援団による、躍動感のあるリーダー公開が

テーマ：献血呼びかけ
於 池袋東口ロータリー



披露された後、意気軒昂な献血の協力呼びかけにより、113名の方々に協力をいただいた。(レポート：広報情報委員会)

『第30回少年少女レスリング選手権大会』 東京新宿ライオンズクラブ旗争奪戦

11R1Z東京新宿LC

東京新宿ライオンズクラブ主催『少年少女レスリング選手権大会』が新宿コズミックセンターに於いて開催されました。今年は、第



2/11(土)

30回記念大会として盛大に実施され、競技選手(幼児～小学6年生)は、東京・神奈川・千葉・山梨から44団体421名のエントリーがありました。青少年の健全育成の一環としてのこの大会は、一方でスポーツ界の英才教育の場でもあり、将来のオリンピック選手輩出につながればとの夢を内包するものであります。

当日は、330-A地区の村木ガバナー、元ガバナーをはじめとする多くのライオンズメンバーのご出席を賜りました。また、多大なるド

テーマ：青少年健全育成
於 新宿コズミックセンター



ネーションを頂戴いたしましたこと、新宿ライオンズクラブメンバー一同深く感謝申し上げます。(レポート：東京新宿LC L中井 正力)

第6回Jr空手道大会 法政大学多摩キャンパス

4R3Z東京法政LC



2/12(日)

第6回法政ライオンズクラブ杯ジュニア空手道大会が、法政大学多摩キャンパス総合体育館で行われた。参加選手は今大会始めて以来の約500名を超えた。主催は法政ライオンズクラブと法政剛柔会。後援は一般社団法人法政大学校友会。内閣官房長官、菅義偉官から本年も祝電が届き、元ガバナーL河合悦子から寄贈のカップが、優勝チームに手渡され子ども達の笑顔と喜びが

テーマ：青少年健全育成
於 法政大学多摩キャンパス 総合体育館



保護者に伝わり称賛の拍手で大会が無事に終了した。(レポート：広報情報委員会)

クラブアクティビティの記事に於いてメンバーなどの呼称は、投稿の記実文を優先します。よって統一されていない箇所がありますが、ご理解お願い致します。1月20日～4月2日開催のアクティビティを掲載しています。

第11回東京国立ライオンズクラブ チャリティボウリング大会

テーマ：青少年健全育成
於 大栄ボウル

13R1Z東京国立LC



2/16(木)

第11回東京国立ライオンズクラブチャリティボウリング大会を大栄ボウル(小金井市)にて、開催しました。18組68名とたいへん多くのブラザークラブの皆さまや、当クラブ関係諸団体にご参加頂き心より感謝申し上げます。当クラブ恒例の「ラーメン争奪」では、男性はストライク、女性はストライク・スペアでラーメンをゲット!各レーンのテーブルにはラーメンの山が…たいへん盛り上がります。参加者はそれぞれのスコアにてメンバーが選りすぐりの豪華賞品をお持ち帰り頂きました。今回の貴



重な浄財は、青少年育成の資金として活用させていただきます。ご参加、ご協力ありがとうございました。(レポート：東京国立LC 会長 L大和 祥郎)

防災チャレンジ大運動会

3R3Z東京赤坂LC

東京赤坂ライオンズクラブは港区スポーツセンターで【楽しく学ぶ、きちんと学ぶ、防災のこと】をテーマに【防災チャレンジ大運動



2/18(土)

会]を開催しました。東日本大震災や近年、上陸頻度を増した巨大台風等に伴う大規模な災害が激甚化していることから子ども達とその家族が防災や災害時の対応について、正しい知識を楽しく学ぶ目的で、当クラブとしては昨年からの引き継ぎの2回目のアクティビティです。地元親子224名の参加があり、運動会形式を通して防災知識を学びました。防災をキーワードに家族で参加できる体験種目を通じて防災意識

テーマ：地域・青少年健全育成
於 港区スポーツセンター



が高まり、非常時の対応について学ぶことは大人にとっても大変役立ったアクティビティでした。(レポート：東京赤坂LC 防災チャレンジ大運動会 実行委員長 L加藤 泉)

第9回チャリティボウリング大会

12R2Z東京町田クレインLC

東京町田クレインLC主催、『第9回チャリティボウリング大会』が開催されました。

昨年11月22日に町田ボウリングセンターにおいて開催した『第8回チャリティボウリング大会』に続き、今回も熊本地震災害支援の



2/18(土)

チャリティ事業としてボウリング大会を開催しました。

当日は84名の参加者にお集まりいただき、28レーンを貸切り、皆さん白熱しながらゲームを楽しんでおられました。ゲーム中には、当クラブ会長の樋口Lと高橋チャリティ委員長、また当クラブの家族会員であり、女優の上良早紀Lが各レーンにチャリティBOXを持って回り、皆様から義援金をご協力いただきました。また、キャビネット副幹事や他クラブのメンバーからも沢山のドネーションをいただきました。ボウリングに引き続き、隣接するホテル・ラポール千寿閣において懇親会を開催し、表彰式を行いました。皆様、豪華賞品の数々

テーマ：熊本震災支援
於 町田ボウリングセンター・ホテルラポール千寿閣



に盛り上がり、楽しいひと時をお過ごしいただけました。今回のチャリティボウリング大会は、本年度2回目ということで、集まった義援金は前回の義援金と併せて熊本地震災害復興支援金として、全額を寄付させていただきます。(レポート：東京町田クレインLC 幹事 L小林 直人)

障がい者成人式「第12回 思い出の成人式」

7R1Z東京荒川LC



2/19(日)

2月19日(日)、荒川区民会館「サンパール荒川」において、東京荒川LCが主催する障がい者の成人式「第12回 思い出の成人式」が開催されました。成人を迎えた障がい者に向けて荒川区の西川区長より名刺入れの記念品が贈呈され、生立ちのスライドショー、父母へ御礼の花束贈呈、そして「世界に一つだけの花」を合唱しました。

また、デザートタイムには大きな苺の

テーマ:地域・社会福祉
於 荒川区民会館「サンパール荒川」



ショートケーキと紅茶で成人のお祝いをしました。

(レポート:CAP委員会 副委員長 L関 飛雄一)

薬物乱用防止教室開催

12R2Z東京稲城多摩LC



2/22(水)

今年度の薬物乱用防止教室を開催しました。2月22日(水)多摩市立永山小学校5年生と6年生144名・2月24日(金)稲城市立第4小学校6年生106名・3月9日(木)稲城市立第5中学校3年生154名が受講し、受講した子ども達はニュースにはあまり出てこない、具体的な薬物の症状・依存性・耐性・罰則等の説明を真剣に聞いていました。講師は学校別に伊藤講師・小金講師・大石講師が担当し

テーマ:青少年健全育成
於 多摩市立永山小学校



それぞれの個性が出た講義になりました。

(レポート:稲城多摩LC

薬物乱用防止委員長 L小金 寿男)

薬物乱用防止講習会

13R1Z東京国立LC

国立市立第8小学校にて、東京国立ライオンズクラブ主催、薬物乱用防止講習会を開催



2/22(水)

しました。当クラブでは、はじめての薬物乱用防止講習会と言うことで、薬物乱用防止特別委員会 村上誠副委員長にお手伝いをいただきました。今回は、6年生2クラス52名の子どもたちへ、各クラスごとに講習会を行いました。真剣な眼差しで講習会を受けて頂き、感謝でした。

講習会の最後に子どもたち全員で「ダメ。ゼッタイ。」を唱和し、盛り上がりました。これからも、ひとりでも多くの子ども達へ「薬物

テーマ:青少年健全育成
於 国立市立第8小学校



乱用防止講習会」を通じて「ダメ。ゼッタイ。」を浸透させて行きます。

(レポート:東京国立LC 会長 L大和 祥郎)

東京マラソン2017応援

2R1Z東京柳橋LC



2/26(日)

柳橋ライオンズクラブ恒例の東京マラソン応援が、浅草むぎとろ向かい側の沿道で行われました。今年からコースも変更になり、この場所は前回よりもかなり早く通過してしまうため、毎年スプレーなどの鎮痛消炎剤を手渡していましたが、まだ疲れている様子の選手が少なく使用する選手が減少しました。

2020年のオリンピック・パラリンピックに向け、ボランティアとしてお手伝い出来ればと思い、メンバー30名が駆けつけ前回以上の

テーマ:オリンピック・パラピック
於 浅草むぎとろ向かい側の沿道



大きな声援をおくりました。

(レポート:広報情報委員会 L後藤 裕文)

中国帰国者日本語発表会

10R1Z東京セントラルLC

2/26(日)

国立オリンピック記念青少年総合センターに於いて、第32回中国帰国者日本語発表会が開催された。主催は、10R1Z東京セントラルLC、協力・東京代官山LC、参加者約200名。様々な地域団体で日本語を勉強した12

名(51歳から80歳)の発表者が、「歩んできた人生」や「病気を克服したこと」、そして大好きな言葉「ありがとう」などをテーマに発表した。みな日本に帰国し、日本語を学習して、これからは、両国の平和活動の橋渡しをしてい



テーマ:地域・国際交流
於 国立オリンピック記念青少年総合センター

きたいとスピーチを結んでいた。

(レポート:広報情報委員会)



献血奉仕活動

4R1Z東京隅田川LC

3/6(月)



隅田川LC恒例の献血奉仕活動が錦糸町駅前で行われました。雨の降る寒い中、メンバー12名により、献血受付者数39名、献血者数28名となりました。奉仕の心が伝わり悪天候の中でも予想以上の方々呼びかけにこたえ献血をしてくださりました。会長L岡田がメンバーの協力も大切な絆だと、クラブ一丸となり活動を続けていこうと決意を新たにしていました。

(レポート:広報情報委員会 L田下 一雄)

テーマ:献血活動
於 錦糸町駅前



「クラブアクティビティ・委員会報告、告知の投稿方法:6つのステップ」

330-A地区ホームページから行うことができます。

- ① ホームページのトップページの右上「投稿」をクリック
- ② 名前⇒メールアドレス⇒R、Z⇒クラブ名⇒役職⇒区分(アクティビティ、委員会など)書き込み
- ③ アクティビティのタイトル⇒実施日⇒本文(報告、告知文)300字程度
- ④ 写真添付 6枚まで。1枚当たり1MBの大きさにして下さい。6枚で6MBまで
- ⑤ ファイル(ポスターなど)PDF添付できます。告知時に便利。
- ⑥ 画像認証をして⇒配信ボタン

投稿お待ちしています。 広報情報委員会一同

クラブ編 Part-1

テーマ:IT技術を活かしたビッグクラブの運営について



現在ICT(いわゆる情報通信技術)、Eメール、クラブホームページ(以下HP)、フェイスブック(以下FB)等SNS(Social Network Service)を活用してのクラブ運営は、避けて通ることが出来ない情報伝達・発信の方法と考えられています。今回、アクティビティを活発に実施して、ICTなどを活用し数多くのメンバーをまとめ運営しているクラブにお集まりいただき、運営とアクティビティ等の情報発信について、現状と未来を探るためインタビューを実施した。

1 クラブの特徴、セールスポイントは何ですか?

(メンバー構成、例会、アクティビティ、目指していることについて)

ピースLC:

男女比が約1:1、地方会員約20%、平均45歳。通常例会とFB例会の2回。アクティビティは女性が活躍できるものとボーリングなど一般参加向けを開催。参加すると奉仕になっている事業を導入している。

世田谷LC:

創立50年を超えるにもかかわらず平均50歳、老壮若で構成している。月2回のアクティビティを開催し、入会間もないメンバーのアイデアも導入している。積極的な外部への情報発信で他地区からの訪問、事業参加者が多いのも特徴。



Ⓘ伊賀保夫(ピースLC)

中野LC:

高齢のメンバーが元気で出席率も良い。女性が12名在籍し多分野で活躍している。

例会は、昼と夜の例会。今年度薬物乱用防止教室を区内小中学校で19回開催。区内中高生による中野駅、秋の青空コンサートは恒例行事となっている。

立川LC:

男性会員のみ。昼(事業等の審議中心)と夜(親睦メイン)例会の月2回。昼は、市内官公庁施設(陸上自衛隊二つの駐屯地)を借りての移動例会年2-3回開催。アクティビティは、労力16件(内事業ファンド4件・災害募金含まず)、労力奉仕12件、金銭は独自のものが10件程度。地域の社会貢献を目指している。

ウィルLC(ネット参加):

女性だけのクラブ。女性の目線、感性を生かしての活動が中心。今期は、自然災害による被災地復興支援や日本の子どもの「貧困改善」と、発展途上国の子どもたちへの「はしかワクチン」の提供等を活動の柱としている。

2 HP、メール、FB、LINE、ブログ等で、役立つ部分、利用法について

FB例会を行っている。報告事項を各自が確認「いいね」を押すことによって参加記録が残る。LINEの中にFBのリンクを貼って参加率100%になるようにしている。緊急時、迅速に対応できる点はメリット。ポイントは、メンバー全員が利用できる環境整備。管理は、事務局と幹事が担当。FBでは同じアクティビティを各人がレポートし、多面的な考え方、感じ方が様々で、数多くのコメント写真を見られるので興味深い。

FB、LINEについてメンバー各々に事情があり全員導入はできていない。Eメールが中心。会合通知や報告については、FBの「イベント機能」を活用している。個々が出し方を工夫して様々な方面へ情報発信している。ライオンネットやLINEとの連携も行っている。HPは、クラブの歴史、連絡先を調べる場合に便利な資料室的なポジションとしている。

FBはHPでも閲覧できるようにして2013年開始した。メンバー向けのA4一枚の中野LC新聞の発行を頻繁に行っており、HPにも掲載。高齢メンバーや事業に参加できなかったメンバーへの情報共有には最も適している。評判もすこぶる良い。継続していく予定。

各々の特徴をクラブ運営に活かしている。HP:クラブ基本情報(組織、年間スケジュール、労力アクティビティ報告)。FB:例会、旬な話題の掲載。LINE:非公式な集まりの伝達手段。30年会(S.30年代生まれ)など。毎月A4版10枚程度の幹事報告を発行してクラブの記録としている。

10期(5年前)にリニューアルしたHPを活用。携帯電話、スマートフォン、パソコン等から例会出欠席の入力が可能。年間の予定が7月に公開され、各自がいつでも確認、登録、変更できる。会員専用ページにはID、パスワードを導入。会員名簿の電子化、クラブ内規等の閲覧と、重要書類のダウンロード、印刷が可能に。

3 内部(メンバー)と外部(一般)への情報発信(スケジュール、アクティビティ予告と事業報告)と媒体の選択と広げ方について

クラブからは、メンバーへの情報発信が中心。45周年記念事業で少年サッカー大会準決勝・決勝を調布のアミノバイタルフィールドで開催するに当たり、FM立川で放送告知したことがあり、関係者を含め多くの方に観戦して頂いた。外部へ発信時に備えて、地域FM、地域新聞東京日報、ケーブルTVなどとの日頃からの交流も大切だと思っている。

アクティビティ情報は、中野区の広報から各新聞社へリリースしてもらえることもある。ケーブルTV取材も区から連絡が入ると出演している。学校関連の事業については、長年区内校長会との交流を継続しており各方面での協力を頂いている。内部へは、高齢のメンバーも多く、ファックスが中心。今後FBなども活用していきたい。

一般へのチャリティボーリングやコンサート案内は、FBでイベントを立ち上げ、ツイッターやライオンネットとリンクを貼ると効果があり特に地方からの反応が多い。メンバーへの発信では理事会例会の報告メールにスピーチなどで役立つ「一言コラム」を添えると高齢メンバーからの良い反応が多く頂ける傾向がある。

内部へは、FBのグループページで瞬時に発信できている。外部へはFBでつながっている方へ、セキュリティを考慮し承認ボタンを押してから「タグ付け」を行い広く情報が拡散するようにしている。

アクティビティの予告・事業報告は、HPのインフォメーションコーナーに、クラブPR委員会から発信している。



Ⓘ進藤 義夫(世田谷LC)



4 各アクティビティの評判・効果の調査の方法を教えてください。

FBのコメントをチェックしている。アナログですが、参加者への直接インタビューをして感想を聞いています。

薬物乱用防止教室は、生徒にアンケートを書いてもらっている。長年続けているサッカー大会について、参加チームの代表者と開催趣旨、目的を確認する機会を設けている。大会が恒例行事として、開催され参加賞など配布が当たり前と思われたことがあったので。

中学校での職場体験事業の一環で「仕事とは何か」を、メンバーがスピーチを行っている。生徒からの評判・感想を校長会に出席してヒヤリングをしている。薬物乱用防止教室は他クラブと同じように終了後アンケートを取っている。



L山下 晃司(中野LC)

薬物乱用防止教室はアンケートを頂いている。また、市内9校の中学校で校長会と連携して「善行表彰」を行っている。校長会との交流で日頃のアクティビティの評判を聴いている。なお、長年継続してきた、クラブ主催のサッカー大会が当初の開催目的とかい離してきたので、約2年越して、理事会などクラブ内の協議を経て、サッカー協会へ申し入れを行い、本年度で終了することになった。

5 今、注目、気になっている、PRの方法や効果的な手法を挙げていただけますか。また会員増強に役立つ方法は何か具体策はありますか。

メンバー自身が例会、アクティビティに参加し易くすること、楽しんでもらうことが身近なPRに結びつく。まずは、参加→体験→発信→FBなど記事のシェアという流れを作ればメンバーは増えると思う。

FAX、メールを活用してクラブ内全員に情報を届けることを徹底する。HP、FB、LINE、などで情報を発信していくが受け取る側の設備やPC、タブレット、スマホが無いことも理解すべき。写真中心のInstagramでの事業報告やFBでの告知に力を入れていきたい。地域新聞、ミニFM局との交流も行いたい。

法人会と連携しスポーツ大会のゼッケンなどを実施したことがある。選手や関係者、そして沿道の応援、観戦者への露出度は高い。立川市にはロータリーなど主だった奉仕団体が6つある。各団体が各々事業を行う時代から将来の連携を視野に入れ、呼びかけ役となり中心的な役割を果たし、奉仕団体の中で知名度を上げることが必要。

FBやInstagramによる情報発信は若い世代へライオンズクラブの奉仕活動を伝え、会員増強にも役立つものと考えている。



L尾崎 繁(立川LC)

6 これだけは言っておきたいこと

地域に求められるためにアクティビティは変化していく必要がある。ITツールも活用して他団体、行政等との連携を強化し地域に貢献できるアクティビティを実現する。

ITを積極的に取り入れ、FBをメンバー皆に導入していきたい。



L高橋英里(ウィルLC)

外部への情報発信は、会員増強につながり、内部への例会、事業報告は会員維持につながる。受け取れる側の技術(スキル)を考慮した発信を心がけていきたい。

キャビネットとクラブがリアルタイムでつながる環境の整備と、クラブ間の情報交流を密にしていくと入会候補者の情報が共有でき、適材適所、目的に合うクラブに入会できる可能性が上がると思う。

ITを活用したクラブの運営、情報発信の重要性は今後さらに高まっていますが、ITを活用できない世代・地域の人達にもライオンズの活動を広めていくために奉仕の現場での人との触れ合い大切にしていきたいと思っています。

今回の対談を通じて、ビッグクラブを維持運営には、様々な知恵・工夫・情熱が感じられました。伝統を重んじ、メンバーの「友愛」「先輩後輩の絆」を大切に拡大・維持を行っているクラブと、「女性の視点」や「若手意見」を尊重し、最先端のICTを活用して、活発な情報発信が結果として「つながり」を深め拡大・維持となっているクラブという2つのグループがあることが分かり興味深い対談となりました。共通点は、まさしく「We Serve」の精神で、地域への奉仕、クラブ運営を行っており、ICTはあくまでのコミュニケーションのツール・手段の一つでした。今後は、ICTの上手な使い方、受け手の環境整備の手順を330-A地区クラブに伝え、ライオンズの真の姿を内外へ発信していければと思います。

ICTコメンテーター：広報情報委員会 L大和祥郎

3月31日 金曜日 15時00分～16時40分 330-A事務局にて
出席者紹介各クラブの紹介と出演者・正会員数

- 1R2Z ビースLC 創立4年 元会長 L伊賀 保夫 正会員65名
- 10R2Z 世田谷LC 創立54年 元会長 L進藤 義夫 正会員50名
- 11R2Z 中野LC 創立53年 会長 L山下 晃司 正会員67名
- 13R1Z 立川LC 創立52年 会長 L尾崎 繁 正会員62名
- 7R3Z ウィルLC 創立14年 会長 L高橋 英里 正会員38名(ネット参加)

- ファシリテーター：広報情報委員会 委員長 L赤尾嘉晃
- ICTコメンテーター：広報情報委員会 委員 L大和祥郎
- 撮影：広報情報委員会 副委員長 L吉岡 晋、L桂 太郎
- 総務：広報情報委員会 副委員長 L後藤裕文



クラブ編 Part-2

テーマ: 少数精鋭でアクティビティ実施のクラブ運営について



少ないメンバーで、アクティビティを活発に展開しているクラブにスポットライトを当て、少人数クラブの持つ底力や抱える問題点を共有して、会員減少時への対応、クラブが再生成長する過程を探るためにインタビューを実施した。

3月22日 水曜日 13時15分～14時45分 330-A事務局にて

各クラブの紹介と出演者・正会員数、最大在籍者数

- 2R1Z 柳橋LC 創立53年 会長 L深野 孝夫 正会員 6名、最大約80名
- 4R1Z 両国LC 創立57年 会長 L山口伸一郎 正会員 9名、最大約60名
- 6R2Z 上野南LC 創立51年 会長 L久保田守子 正会員 7名、最大約60名
- 8R2Z セイシンLC 創立19年 会長 L下園 喜治 正会員 9名、最大約30名
- 10R1Z セントラルLC 創立34年 前会長 L川村 洋治 正会員10名、最大約55名

ファシリテーター : 広報情報委員会 委員長 L赤尾嘉晃
 撮影 : 広報情報委員会 副委員長 L吉岡 晋
 総務 : 広報情報委員会 副委員長 L後藤裕文

1 代表的なクラブアクティビティについて

柳橋LC:

献血奉仕を中心に行っていたが、AIDS問題・成分献血などで制度が変わり活動が鈍った。現在は東京マラソンランナーへの鎮痛消炎スプレーの提供を行っている。秋葉原LCと連携し八署対抗柔剣道大会運営に参加している。

両国LC:

墨田区社会福祉協議会から紹介を受け静岡県伊豆長岡市にある、東京都の児童福祉施設への支援を行っている。都内で開催のサッカー大会への交通費支援、中高生への職業体験を本所LCと連携して行って5年となる。

上野南LC:

全国約30クラブで構成されている「南クラブ友好会」に属し、北海道から九州沖縄までの南LCとの絆を深めている。年1度の友好会では、各クラブ活動発表後、懇親会で情報交換している。災害時の支援対応は素早い。

セイシンLC:

ピポ・ユニバーサル駅伝(神宮外苑を会場に若者から高齢者、健常者・障がい者、外国人4人一組のリレー)はNPO・学生の協力を得て15回継続。毎日新聞社との縁もあり大会の様子は翌日の朝刊に掲載されている。

セントラルLC:

中国帰国者日本語スピーチ大会は32回の継続開催。アクティビティを受ける側の喜びを第一に内容を企画している。各地の日本語学校から200名を超える観衆が集まり、代官山LCや10Rのクラブの協力で運営。

ファシリテーターコメント

少人数というハンディは、「他クラブとの連携」や「地域団体と協力」して、運営組織を構成することによって対応、克服している。



L深野孝夫(柳橋LC)

2 メンバー数が減少した理由について



L山口伸一郎(両国LC)

アクティビティに対する考え方の違いから、メンバーがクラブを去っていく時期があった。本当に喜ばれる事業とは何かを議論し、意義のある活動を目指すようになった。

25、30周年など節目で引退するメンバーが多く出た。また、人数が多いと会長選出時に選挙を行うことがありクラブが分裂、メンバー激減の要因の一つと考えられる。

強力なリーダーシップを持ったメンバーが相次いで亡くなった時に、クラブの求心力が低下し、アクティビティや人間関係がうまくいかない状態に陥り、入会者が減った。

景気低迷や奉仕のプライドなど考え方の違いから分裂し、メンバーが大量離脱した。人数が約40名を超えると派閥が出来て方向性が定まらず、クラブ運営が難しくなった。

ファシリテーターコメント

クラブの目指す「奉仕の方向性」をメンバー全員で共有することが大切。「チーム力」すなわち結束力に陰りが出てきた場合は、入会希望者が減少傾向なので要注意。



L久保田守子(上野南LC)

3 チームワークとこれからの対応、発展策について

伝統あるクラブは一度幕が下り、新しい第二期がスタートしたと考えている。今後はアクティビティに賛同してくれる人をメンバーとして迎え入れたいと思っている。

少人数であると意見がまとまり易く、心地が良い。奉仕へ素早く対応行動ができる。準会員(他のクラブに本在籍)の方々からの提案で良い連携協力が育ってきている。

ライオンズのPRも兼ねてサポーター会員(年会費2万円)を増やしている。納涼、クリスマス例会とアクティビティ参加への案内を出している。過去、正会員の年会費を下げてもメンバーが増加することはなかった。

取引先をメンバーにすると景気に左右されて退会してしまう。感動できるアクティビティを企画運営してクラブのステイタスを上げていく方向で今動いている。

どこの団体も人数減に苦しんでいる。以前は、メンバーになったことでプライドを持つことができた。メンバーになって何のメリットがあるのかを発信していくことが重要。

クラブ間の連携を強化する時期だと考えている。合同例会、合同アクティビティを開催して情報を発信、参加者が楽しみ、喜んでもらうことを最優先して企画運営する姿勢が大切。

伝統あるアクティビティを継続していくためにも志が同じメンバーを増やしていく必要があると考えている。少数精鋭は自慢にならない。ある程度の人数がいないと奉仕活動すなわちアクティビティができない事実は理解している。

ファシリテーターコメント

本当に喜ばれる、役に立つアクティビティとは何かを、「調査—企画—実行」していけば、人は集まってくるのではないのでしょうか。現在継続しているアクティビティを精査し発展のための調査を始め、新しい分野のアクティビティを始める時期かもしれません。



L下園喜治(セイシンLC)

4 一言、言っておきたいこと

先輩ライオンからの一言が忘れられません。「LCは、人生大学、日々勉強だよ」

戦争から70年が過ぎ、その体験を伝えるアクティビティがあっても良いと思う。

地方の名産物を東京で販売して、基金をつくり活動する循環を作りませんか。

継続は力なりと考えている。小さなクラブは合併を視野に入れても良い時期である。

アクティビティでライオンズの価値を変えていきたい。



L川村洋治(セントラルLC)

結びに

「友愛と奉仕」の基本的な考え方が揺らぐと、メンバー減少に転じる場合があり、「希望の光」を発する私たちメンバーが仲良くいつも輝いていることが大切と感じました。貴重なコメントをたくさん頂きました。出演の皆さま、ご協力いただいた関係各位に改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

薬物乱用防止講習会

10R2Z東京玉川LC



3/6(月)～3/13(月)

3月6日～13日にわたり、地元中学校5校で薬物乱用防止講習会を開催致しました。毎年開催している継続アクティビティで各中学校より好評を頂いております。青少年健全育成を願い、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動を続けております。

(レポート:東京玉川LC 幹事 L馬場 久雄)

テーマ:青少年健全育成
於 地元中学校5校



3.11.を忘れない募金活動

5R2Z東京江戸川南LC



募金
3.11
6年
あの日を
忘れない
東日本大震災

3/10(金)

我クラブでは、西葛西駅において「3.11を忘れない募金活動」を行いました。集まった募金額は351,612円で、15日(水)に気仙沼LCを訪問し、L佐藤悟会長に渡しました。

募金は、青少年育成に役立てて頂けるとの事でした。

(レポート:会計 L根津 万寿夫)

テーマ:東日本震災支援
於 西葛西駅



3.11. 東日本大震災復興支援募金

7R2Z東京けやきLC

けやきLCは東武東上線成増駅で、東日本大震災復興支援募金を行なった。震災発生から6年、毎年3月11日に行われるこの支援活動は、けやきLCらしい地域社会に根ざす継続的なクラブアクティビティである。震災の年けやきLCは福島県を訪問して募金を手渡し、知事の話を知ることができた。そのとき



3/11(土)

「数々の風評被害で県民の精神的なダメージと経済的な損失が大きい」と言われた。以来、福島県の危機管理部危機管理課を通して知事宛てに募金の送金を続けてきた。震災から6年の今、復興への道のりは未だ険しくプレハブの仮設住宅に暮らす人は、岩手、宮城、福島の3県で3万5503人。この数字は2017年1月末のもので、ちなみに阪神大震災では仮設住宅は5年で解消している。

今年の募金活動中、一枚の紙幣ともに「私の故郷は福島県で、震災後東京の大学に進学した。今年卒業でお陰様で就職も決まりました。募金活動お疲れ様です、感謝します」と声をかけられた。この一言で、続ける肝要をメンバー全員が振り返ることが出来た。

テーマ:東日本震災支援
於 東武東上線成増駅



例えば仮設住宅が解消されるまで、原発事故が終息を迎えるまで、被災者の皆様が心よりの笑顔を取り戻せる時まで、継続する事がけやきLCのウィサープと思わせる東日本大震災復興支援募金であった。

(募金総額 98,780円)

(レポート:広報情報委員会 L吉岡 晋)

東北震災被災地復興支援 南三陸桜の植樹

10R2Z東京世田谷LC

前期(L畠山会長期)に開催いたしました「東日本大震災復興支援、被災地に桜を植樹する為」のチャリティーボーリング収益にて、かねてより支援活動をしております、南三陸町NPO法人桜並木ネットワークの協力のもと、桜の植樹をする運びとなりました。



3/11(土)

場所は、海と、かつて街だった場所の見渡せる高台。

桜は、これから、そこに住む方々の癒しとなり、万が一の際、皆さまを安全な場所へと導く目印の役目を果たしてくれます。

わが東京世田谷ライオンズクラブが、震災直後、流されてしまった障がい者の方々の作業所復活のために紙漉き器を寄贈した際、その作業所に、「笑はがき工房 世田谷」という看板を掲げていただきましたが、今回も、この地にもう一つ、「世田谷」の碑が設置されました。とても深い絆を感じます。桜と共に、ずっと

テーマ:東日本震災支援
於 南三陸



ずっと、皆さまを見守ってみたいと思います。そして、私たちメンバーは、桜と共に、被災され亡くなられた方々をいつまでも忘れず哀悼の意を捧げ、こうしていただいたご縁を大切にしながら、微力ながらも復興のお手伝いを続けさせていただきたいと思っております。

(レポート:L須藤 陽子)

東日本・熊本震災支援

11R1Z新都心有志クラブ合同

『第6回 防災フェア&チャリティーイベント』が開催されました。新都心ライオンズクラブが地元の西新宿角三町会と3.11東日本大震災の翌年より復興支援の為に始めたイベントで、今年で6年目を迎えました。

当日は、少しひんやりした気温ではありませんでしたが晴れにも恵まれ来場者数も、約3,000人とバザーも盛況となりました。

防災フェアの面では新宿区・新宿消防署・



テーマ:東日本・熊本震災支援
於 新宿中央公園「水の広場」

3/11(土)

新宿警察署・水道局・公園課など自治体とNTT東日本のご協力、起震車・給水車・けむりハウス・ポンプ車などを使った防災・減災体験を地域の方に体験して頂くことが出来ました。毎年行われるスタンプラリーには、地元企業皆様に多数の景品を出して頂き、民生委員の方の運営で、ご家族やお子様にも喜ばれ集客にもつながっています。

また、地元自治体の方々による露店や、地元体操クラブ、西新宿こども園・児童館・小学校によるステージでの踊りや太鼓の演奏も恒例になってきました。

他にも、ステージではヒップホップや演歌のライブ、防災講演が行われました。

チャリティーバザーとしては、ライオンズクラブが中心となり今年も10以上のテントが出



店して、中央の広場もずっと賑わっていました。

参加したライオンズクラブは、東京21世紀LC、東京新宿LC、東京数寄屋橋LC、東京平成LC、東京渋谷LC、東京蒼空LC、東京江戸川なでしこLC、東京ハーモニーLC、チームKAWAI。他にも骨髄バンクを支援する東京の会、三菱重工冷熱(株)、社団法人オイスカ、(敬称略・順不同)他のお力を借りて盛況のうちに14:47の黙とうまで無事に終える事が出来ました。

(レポート:東京新都心LC

PR情報委員長 L山口 俊三)

井の頭恩賜公園 開園100周年記念清掃活動

12R1Z東京吉祥寺LC

井の頭公園のゴミ拾い、清掃活動を行いました。今回は東京武蔵野LC、武蔵野青年会



3/11(土)

議所との合同例会として実施。これからの季節、お花見等で公園は賑わいます。来てくださる方々も綺麗な公園を満喫していただける様、念入りに清掃致しました。

植え込みの中まで、くまなく清掃を実施し、ゴミ袋も一杯になり、約二時間作業を行いました。なんと、偶然にもITALYのライオンズ関係者が公園にいらっしゃいました。

お声を掛けていただき、榎本会長と記念撮

テーマ:地域・環境
於 井の頭公園



影! やはり奉仕の精神は、世界共通なんですね。団体は違えども奉仕の精神は同じ。今後共どうぞ宜しくお願い致します!

(レポート:東京吉祥寺LC PR情報委員長 L笠原 伸太郎)

クラブアクティビティの記事に於いてメンバーなどの呼称は、投稿の記実文を優先します。よって統一されていない箇所がありますが、ご理解お願い致します。1月20日～4月2日開催のアクティビティを掲載しています。

盲導犬チャリティ募金

東京並木LC、東京虎ノ門LC合同



3/20(月)

並木通LCと虎ノ門LCが共同で毎年恒例の盲導犬チャリティ募金を行いました。メンバーの会社のイベントに便乗しましたが、7万人の入場者数の中での募金活動で総額1,293,600円の募金が集まり、両LC合同アクティビティとして日本盲導犬協会に寄付しました。

(レポート:L高橋 秀人)

テーマ:社会福祉
於 東京ビックサイトのイベント会場内



中野区へ地域防犯パトロールカー贈呈式開催

11R2Z東京中野LC

中野LCの今期のメインアクティビティ「中野区へ地域防犯パトロールカー贈呈式」が行なわれた。会長L山下 晃司の贈呈の趣旨説



3/29(水)

明のあと、田中 大輔中野区長がお礼のことばを述べ、キーを贈呈した。本アクティビティは、地域防犯・治安環境向上への貢献とライオンズの知名度アップのため行った。今期は、薬物乱用防止教室を区内で19回開催しており、子どもたちをはじめ保護者、地域でのライオンズクラブへの認知度は高まりつつある。今回贈呈する「中野ライオンズ防犯パトロールカー」が区内通学路等を走り、登下校の児童・生徒を見守ることによって地域の安全安心が充実されることになる。子ども達の心に

テーマ:地域・環境
於 中野区庁舎前



ライオンズの文字が印象付けられ、好感度・知名度が上昇することは間違いないと思われる。

(レポート:広報情報委員会)

第40回くにたちサクラフェスティバル

13R1Z東京国立LC

第40回くにたちサクラフェスティバルが国立市谷保第3公園にて開催されました。2日



4/1(土)・2(日)

間で約4,000人の方が来場されました。東京国立LCでは、日本折り紙ヒコーキ協会の公認インストラクター、岸本光夫氏をお招きし、子どもたちに紙ヒコーキの楽しさや作り方教室を開催しました。親子が野外、室内を問わず楽しみながら、制作や飛行ができ大好評でした。東京国立LCから皆さんの夢を紙ヒコーキに乗せて。これからもライオンズのもと地域に根ざしたアクティビティを継続していきます。

(レポート:東京国立LC 会長 大和祥郎)

テーマ:地域交流
於 国立市谷保第3公園



東京ライオンズクラブ結成65周年記念式典

1R1Z東京LC

東京ライオンズクラブ結成65周年記念式典が開催された。日本で最初に設立されたクラブらしく世界各地から288名が集まった。

サプライズで前国際会長の山田實紘Lが急きょニューヨークから駆け付け式典に華を添えた。記念アクティビティは、盲導犬協会への寄付、LCIF\$1,000献金、ミャンマーコン



3/9(木)

ピュータ教室贈呈、東日本大震災支援「福島子どもオーケストラ演奏」と多岐にわたり、伝統的な寄付と国際支援、そして青少年健全育成とライオンズ活動テーマを改めて確認でき、活発なクラブ活動を発信する内容だった。ミャンマーのコンピュータ教室とは、WebのSkypeでつなげて会場とライブで交流し先進的なコミュニケーション手法も披露された。

(レポート:広報情報委員会)

テーマ:65周年
於 帝国ホテル富士の間



東京山王LC認証状伝達式

2R3Z東京山王LC

東京山王LC認証状伝達式がコートヤード・マリオット銀座マリオットホテルに於いて開催された。出席者は、125名。

330-A地区に201番目のクラブが東京石泉LCのスポンサーで誕生した。村木秀之G、元国際理事L山浦成暉、歴代ガバナー、キャビネット役員等が出席して厳かにそして華やかに認証状伝達式が行われた。26名中24名が初めてライオンズメンバーになる門出に2R-3Zの東京みやこLC、東京ワンハンドレッドLC、東京蒼天LC、東京新世紀LC、そして兄弟クラブの東京光が丘LCが駆けつけた。アクティビティとして、大川あつ子会長の接客時の経験から、メンバー全員で上級救命講習(AED関連8時間受講)をうけることが発表された。今後は赤坂地区での活動を中心に街のニーズを調査しながら奉仕を行っていく方針が発表された。式典冒頭の「ライオンズクラブの歌」のL酒井 徹ソングリーダーの力強さに出席者みな圧倒され勢いを肌で感じ、これからの活躍が楽しみな伝達式であった。

(レポート:広報情報委員会)

3/22(水)



テーマ:認証状伝達式
於 コートヤード・マリオット銀座マリオットホテル



キャビネット関連報告 委員会セミナー等告知

1/26(木) 第1回薬物乱用防止教育認定講師スキルアップセミナー

【薬物乱用防止】 於 国立オリンピック記念青少年総合センター

当委員会では今期スキルアップセミナーを3回予定しており、その第1回目を実施致しました。このスキルアップセミナーは「ペーパードライバーを減らそう」ということで、教壇に立ったことのない方が第1歩を踏み出せるよう考察し、開催を試みておりますが、受講者の皆様の中にはより具体的なスキルアップを望んでいる方もおられました。

- ①DVDとパワーポイントでの講義以外どんな話をしたらよいか?
- ②学校での薬物乱用防止教室は1時限単位(45分~50分間)の中で効率よく講話をするのにはどうしたらよいか?

③開催して頂ける学校へのアプローチをどのようにすれば良いか?

このように活発な質問も出ており、当委員会では数種の例を挙げ解説しております。

完璧な方法は定義していませんが、各種各様の手法を各クラブ、各個人で経験され330-A地区の全クラブで情報の共有化を図りたいと考える次第です。

今後の開催は、第2回目・3月23日(小学校用)、第3回目・5月18日(中学校用)を予定しておりますので是非ご参加をお願い致します。

(レポート:薬物乱用防止特別委員会 副委員長 柳井 健一)



2/2(木) 第2回薬物乱用防止教育認定講師養成講座開催

【薬物乱用防止】 於 国立オリンピック記念青少年総合センター

今期、2回目の養成講座を新規33名、更新42名、合計75名の参加をいただき、開催いたしました。最初に、村木ガバナーのご挨拶をいただき、講座として、①から⑤を開催。

- ① 新DVDの視聴
 - ② 医学知識のDVD視聴
 - ③ 警視庁による専門講座「麻薬取締の実態」
 - ④ 東京都福祉保健局による専門講座「危険ドラッグ対策について」
 - ⑤ 実践講座
- 閉講式では、公益財団法人麻薬・覚せい剤

乱用防止センター富澤専務理事より、講評をいただき、細川第一副地区ガバナーより、ご挨拶と新規認定者へ認定証の授与が行われ、閉会した。

地域社会貢献活動として、この「薬物乱用防止教室」の開催は、大変有用であり、「ペーパードライバー」ではなく、是非地域の学校にて、実践をお願いします。実践前の、スキルアップ講座も、今期残り2度開催します、3/23、5/18。よろしく申し上げます。

(レポート:薬物乱用防止特別委員会 副委員長 L村上 誠)



2/9(木) 会員増強拡大セミナー

【会員拡大】 於 霞が関ビル レストランけやき

会員増強拡大セミナーが約200名の参加のもと霞ヶ関ビル35階で開催された。

セミナーでは、第88代警視總監 環境省原子力規制委員会原子力規制庁 初代長官 池田 克彦 先生の講話(テーマ:説教の事典から説教の仕方、昔話、歴史の話为例として使う、歴史の話、童謡や唱歌を若手は知らない)、

アワード贈呈の後、石井征二元ガバナーの乾杯で懇親会が始まり新入会員候補との交流を深め、各メンバーからライオンズクラブ活動内容を詳しく聞いていた。外は降雪、会場は熱気に満ち溢れたセミナーであった。

(レポート:広報情報委員会)



3/18(土) 公認ガイディングライオン研修会

【青年アカデミー・指導力育成】 於 AP西新宿

青年アカデミー委員会/指導力委員会主催の「公認ガイディングライオン研修会」が開催された。はじめに、村木秀之ガバナーより開会の挨拶があり「公認ガイディングライオンの資格はゾーンチェアパーソンにとって特に必要なものである」と、この研修会の重要性を強調した。地区GMTコーディネーター 進藤義夫を講師に迎えたこの研修会では、公認ガイディングライオンプログラムをもとに進められ、その練習問題のなかでガイディングライオンとしてのスキルを自己評価し、メンターやメンターチームの役割を認識した。続

くワークショップでは、各テーブルに与えられたテーマに対して活発な意見交換が行われ、後のプレゼンテーションでは、各プレゼンターの個性あふれる手法と表現に盛大な拍手が起こった。春を迎え会場の温度も上がるなか、37名の参加者は4時間の研修会で最後まで講師の話に耳を傾け、意見を述べた。この様な各自がリーダーを目指す姿勢と熱意に、330-Aの今後を感じさせられた研修会であった。

(レポート:広報情報委員会)



3/20(月) サクラ植樹アクティビティ

【環境保全委員会】 於 江戸川区葛西防災公園

330-A地区 環境保全委員会主催、東京江戸川なでしこLC共催による「サクラ植樹アクティビティ」が開催された。当日は晴天に恵まれ、江戸川区より土木部長の深野様ほか数名の来賓が参加し、ライオンズクラブからは村木G、細川第一副地区G、今井第二副地区Gほか多くのメンバーが参加した。小松副委員長司会のもと来賓の方々の挨拶に続き、増田委員より植樹方法の説明があり植樹を開始。今現在低木しかない歩道に、数年後には桜の花が満開になる姿を想像しながら皆笑

顔で協力しあいながら植樹を行った。植樹終了後は東京江戸川なでしこLCが準備した災害時に使用する「ハイゼックス」で米を炊き上げ、手作りのカレーライスを食べた。良い天気のもと皆笑顔で会話しながらの楽しいアクティビティは最後に原田副委員長の挨拶で閉会した。

(レポート:広報情報委員会 L大類 雅之)



4/1(土) 愛はきらめきの中で チャリティーコンサート

【国際協調モンゴル友好】 於 府中グリーンプラザ けやきホール

「愛はきらめきの中で チャリティーコンサート」が「祝ライオンズ国際協会創立100周年、祝日本モンゴル国交45周年」を記念して、府中グリーンプラザ けやきホールで開催された。ライオンズ国際協会330-A地区国際協調モンゴル友好委員会、献血献眼献腎骨髄移植委員会の主催。協力協賛は東京中野LC、東京大江戸LC、東京府中LC、東京吉祥寺LC。コンサートは二部構成で行われ、第一部オープニングでは2つのヴァイオリンコンチェルト。村木G、両委員長L河田、L原田の挨拶のあと、

歌と能舞のコラボレーション繰り広げられた。第二部ではモンゴルの民謡と音楽。約2時間のコンサートの結びは「ふるさと」を全員で合唱して、午後の一時を楽しく過ごした。参加者は約350名。

このチャリティーの収益金はモンゴル国、東京都赤十字献血センター、公益財団法人日本骨髄バンク、公益財団法人日本アイバンク協会へ寄付される予定。

(レポート:広報情報委員会)



1/31(火) 臨時第1回キャビネット会議

[CAB] 於 新宿京王プラザホテル

臨時第1回キャビネット会議が開催され、キャビネット構成員約200名が出席した。協議事項では薬物乱用防止大パレード中間収支報告や100周年記念誌作成予算、第63回年次大会予算などが協議され承認された。後半の新年賀詞交換会は、386名が参加し盛大に開催され、かがみ開きやホテルの制服を

着たオペラ歌手たちがパフォーマンスを披露し会場は華やいた。また、サンパチームが練り歩き、元気いっぱいの賀詞交換会となった。村木G期、後半の第一歩が大きく踏み出された。
(レポート: 広報情報委員会)



2/13(月) 第2回会長会

[CAB] 於 新宿京王プラザホテル 4F花の間

村木G、キャビネット幹事団、山浦元G、リジョン・チェアパーソン世話人、ゾーン・チェアパーソン世話人、組織連携・事務所移転検討委員会委員長とクラブ会長150名が出席し、第2回会長会が開催された。

100周年記念薬物乱用大パレードのDVD(約15分)の上映後、村木Gから以下のコメントがあった。「私たち330-A地区は前代未聞の規模で丸の内・銀座をパレードできたと思う。ライオンズクラブの存在を知ってもらいたい思いから、テーマを時流にあった薬物乱用防止として発信力を高めた。100周年、前半は、L村木が、シカゴ国際大会以降の後半は、細川Lが担当して2人で100年祭を祝う考えで、箱物アクティビティではなく、本年はパ

レードを行った。約200社の報道関係に取り上げられ、会員増強の実績に結びついている(1月は準地区で入会増加人数、全国1位)。報告議題として

- ① 100周年記念
- ② 薬物乱用防止大パレードについて
- ③ 100周年記念誌作成について
- ④ 330-A地区名簿作成について
- ⑤ キャビネット事務局移転について
- ⑥ 第63回年次大会について
- ⑦ その他

が報告されその後、質疑応答が約55分行われた。パレードの費用が膨らんだ理由説明や特別会計の開示、そして事務所移転の預託金の扱いなどについて意見質問が出た。



幹事篠L、池田委員長等が各質問に対して丁寧に答え、村木Gが補足コメントを添えた(レポート: 広報情報委員会)

3/15(水) 第3回キャビネット会議

[CAB] 於 新宿京王プラザホテル

第3回キャビネット会議が京王プラザホテルにおいて開催され、出席者はキャビネット構成員95名で定足数に達した。

1. 協議事項(ガバナー提出案件)としては以下の事項が審議、承認された。
 - (1) 一般事項
 - ① 上半期の会計報告等
 - ② 一般会計補正予算案
 - ③ その他
 - (2) 第63回年次大会関係
 - A. 大会議案集
 - I. 大会プログラム
 - ウ. 大会予算案

2. その他としては次の事項が提出案件として審議された。
まず、キャビネット事務局移転時期の延期について審議され、予定通り進めることが承認された。また、広報情報委員会より2月に各クラブの意向を調査したアンケート結果を公開し全体の5分の1のクラブが勤務先・自宅の掲載を希望しないことが判明した。個人情報の取り扱いを再度協議する必要性があり、今期は広告費を募って名簿を作成しない旨の提案がなされ採決の末、賛成多数で承認された。次に各種報告事項が報告され滞りなく閉会した。(レポート: 広報情報委員会)



2016~2017

ライオンズクラブ国際協会330-A地区
第63回年次大会

大会テーマ
「Future」
～未来～

大会スローガン
さらなる平和・協調へ

開催日 2017年5月14日(日)
会場 横浜ロイヤルパークホテル

登録のご案内

● 代議員登録締切日 3月30日(木)

● 代議員以外の会員・関係者登録締切日 4月17日(内) ※クラブ事務局(代議員、代議員以外の会員、関係者)を取りまとめで、クラブ一斉で行なわれます。

● 登録料 10,000円(代議員、代議員以外の会員・関係者) 登録料は登録と同時にクラブ一斉での指定預金口座振込にて必ずお支払いください。

● 送金先 銀行名: 三井住友銀行 支店名: 横浜支店 口座番号: 普通預金 2672933 口座名: MD330年次大会(MD330年次大会)

● 登録変更期間 代議員は4月7日(金)、代議員以外の会員・関係者は4月24日(日)までにお願いします。(注) 期間後の参加希望は出来ませんのでご注意ください。

会場のご案内

横浜ロイヤルパークホテル
〒220-8501 神奈川県横浜市中区磯子区磯子1-1-1

バス 330-A地区 全クラブ

大会事務局 ライオンズクラブ国際協会 330-A地区ガバナー協議会
330-A地区年次大会委員会
〒100-0007 東京都千代田区千代田1-1-1 日本橋三井ビルディング
http://www.lionsclub-mc330.jp E-mail: lions330@com.net.jp

3/18(土)「無事進学しました」

FWT(家族及び女性会員チーム)から

FWT(家族及び女性会員チーム)は、2015年12月から学校給食のない土・日曜日に、足立区北部子どもの居場所で、食事を提供(通常は土曜日に約20名×2回を作る)しています。中学生達は、ボランティアの学生や家族会員に勉強を教わるためにも集まってきます。温かい食事があると集まりがとても良く、学習面でも頑張る生徒も多く見受けられました。

3/18は、公立高校を受験した30名が合格したお祝いとボランティアの先生への謝恩会を開催しました。いつもより豪華なお料理を準備してパーティ気分を演出しました。その折衷立つ3年生からライオンズメンバーへ心を込めて書いた感謝の寄せ書きが手渡されました。

約1年4か月の間に3,500食を炊きだして下さったメンバーの皆様へ330-Aニュースの紙面を借りて子ども達からのメッセージをお届けしたいと思います。食材等様々なご協力に改めて感謝申し上げます。
(レポート: FWTエリアリーダー(東日本)L小川晶子)

報告

子ども達からの寄せ書き

2017.6/30~7/4 第100回 ライオンズクラブ国際大会 イリノイ州 シカゴ

会場: マコーミックプレイスなど

今年6月30日から7月4日まで「第100回ライオンズクラブ国際大会」が開催されます。シカゴは、ミシガン湖のほとりに位置する大都会で美しい街です。近代建築の宝庫とも呼ばれ、摩天楼発祥の地としても知られています。

各クラブ宛てに、旅行代理店4社のシカゴツアーパンフレットを郵送いたしました。ぜひクラブ例会で回覧をお願いいたします。また、国際大会参加委員会宛てのお問い合わせもお待ちしております。

募集告知

会場: マコーミックプレイス。地図右下(←矢印)

バス停のデジタルサイネージ

ライオンズクラブ国際協会を代表いたしまして、2017年グローバル広告キャンペーンの一環として皆様の地域での広告展開に向けた準備が進んでいますことを、ご報告申し上げます。

「思いやりは、大切なこと」をテーマにしたこのキャンペーンでは、ライオンズのブランドと人助けの精神を一般の方々により広く知っていただき、あらゆる地域奉仕活動の裏でライオンズが自分の時間を地域社会のために注いでいるのは、自分たちの町で、また世界で、思いやりが重要な意味を持つからなのだ、というメッセージを伝えることを目的としています。

思いやりは、大切なこと。日本で、そして世界中で。
Lions Clubs International www.lionsclubs.org

トルコ・ダナ市で、難民の家族が暮らす「セーフティハウス」を建設する

報告

虎ノ門駅 付近 バス停のデジタルサイネージ



今後の主な行事予定

- 2017 5.14. 複合地区年次大会 横浜ロイヤルパークホテル テーマ『Future 未来』
 6.12. 第4回キャビネット会議:新宿京王プラザホテル
 6.30~7.4. 第100回国際大会(国際協会創設100周年記念大会):CHICAGO, IL, USA



表紙説明・編集後記

106年目を迎える都電荒川線は、王子電気軌道として明治44年(1911年)8月大塚⇄飛鳥山が開業し、その後昭和7年(1932年)1月早稲田まで開通して現在の路線とほぼ同じになりました。戦後、一般道路・高速道路網が整備されて車社会となり、都市では地下鉄の建設ラッシュ、利用客が減少し採算が悪化、路面電車は主要都市から姿を消しました。都電荒川線は、1974年沿線住民の運動により永久存続が決定してから今年で43年。新型車両等も投入され、停留所など地域住民による美化運動も続いています。誰にでも優しく、人と人を結び付け、便利できれいな乗り物、観光資源としても注目されています。(写真は、レトロ車両9000系)

我々ライオンズクラブも、今年で生誕100年となります。経済、環境の激変にも先輩メンバーが柔軟に変化、対応して、地域社会に「希望の光」をあててきました。次の100年に向け新たな一歩を踏み出す今、古き良きものの価値を理解し、誰にでもやさしく情報発信し、生活者の目線でアクティビティを行うことで、ライオンズクラブの魅力が増し、新しい仲間が集まってくると思われれます。都電荒川線の発展を参考に We Serve!

広報情報委員会 委員長 L赤尾 嘉晃

クラブアクティビティ・委員会セミナーの予告、報告は、330-A地区HP右上の投稿欄からお願いいたします。330-A NEWSデジタル版は、過去の地区ニュース5年分が掲載されていて他クラブのアクティビティやキャビネット活動の変化を見ることが出来ます。

◆HPは、「330Aで検索」

2016-17広報情報委員会 メンバー紹介

L赤尾嘉晃	委員長	(豊新LC)
L後藤裕文	副委員長	(法政LC)
L吉岡 晋	副委員長	(けやきLC)
L津守勝男	副委員長	(大森LC)
L桂 太郎	副委員長	(世田谷LC)
L荒牧知子	委員	(東京LC)
L工藤紀子	委員	(三田LC)
L須藤三男	委員	(芝LC)
L田下一雄	委員	(隅田川LC)
L大類雅之	委員	(江戸川中央LC)
L遠藤真太郎	委員	(江戸川中央LC)
L矢追秀紀	委員	(ウエストLC)
L飯田容子	委員	(表参道LC)
L窪田直隆	委員	(三鷹LC)
L里井純二	委員	(西東京LC)
L大和祥郎	委員	(国立LC)
L向井忠義	SPA	(三鷹LC)
L矢田部満	SPA	(調布LC)
L鹿野祥誠	担当副幹事	(数寄屋橋LC)



◆電子版 QRコード